

し活躍したこととあいまって、県民がスポーツに対し強い関心を示し、次の事業を施行したが、充分の成果を収め所期の目的を達成し得たものと思う。

1 第18回福島県総合体育大会

第18回福島県総合体育大会漕艇競技は8月14・15の両日県営荻野漕艇場・水泳競技は8月29日福島市民プールでそれぞれ開催した。又秋季大会は8月20日より23日まで原町市を中心に12市町村36会場において約6,800名の参加のもと開催したが、好天に恵まれたことと関係者のご協力によって事故なく多くの成果を収め終了した。

特に数年来選手強化のための努力が実を結び記録的に大いに向上して下記各種新記録が出たことは、本県スポーツの向上を如実に物語るものである。

(1) 陸上競技	県新記録	1
	大会新記録	30
	大会タイ記録	10
	県高校新記録	7
	県高校タイ記録	4
(2) 重量挙げ	日本新記録	4
	県新記録	1
	大会新記録	22
	大会タイ記録	7
(3) 射撃	県新記録	1
(4) 自転車	県新記録	1
	県高校新記録	1

2 第18回福島県総合体育大会冬季大会 スケート競技会

昭和41年1月13・14の両日県営土湯スケート場において一般8名、高校4校28名の参加を得て開催したが、スケート場開設以来の良質の水と天候に恵まれ、県新記録3、大会新記録4を収めて無事終了した。最近県下数ヶ所にインドアスケート場が開設されたので年々競技人口が増加するものと思われ、今後の発展が期待される。

高等学校対抗成績	1位	日本大学東北工業高校	43点
	2位	白河高校	39点
	3位	福島商業高校	16点

3 第18回福島県総合体育大会冬季大会 スキー競技会

昭和41年1月21日より24日まで、国設猪苗代スキー場において、一般28チーム、高校27校、中学校10校実人員505名が参加して天候と雪量に恵まれ、陸上自衛隊はじめ関係者のご協力によって好記録を収めて終了できたが、最終日約1米50厘の豪雪に見舞われ、滑降競技コース整備に懸命の努力を払ったが、コース整備不十分では、生命に危険を伴う競技であるので、滑降競技だけ中止して大会を終了した。

今大会の特色は、ジュニアの部の選手が、高校生や一般の選手と対等の記録を出して注目を集めたことで、

本県スキー競技界の将来に大きな希望をもつことができた。学校対抗の成績は次のとおり。

男子	1位	猪苗代高校	132点
	2位	若松商業校	83点
	3位	会津高校	46点
	4位	会津工業高校	42点
	5位	喜多方高校	21校
	6位	福島第一高校	17点
女子	1位	猪苗代高校	85点
	2位	若松女子高校	35点
	3位	若松商業高校	23点
	4位	喜多方女子高校	17点
	5位	会津女子高校	12点
	6位	福島女子高校	5点

4 第20回国民体育大会秋季大会

期日 10月24日～29日

場所 岐阜県

派遣人員 240名

東京オリンピック大会後初めて開催される国民体育大会であって、世間の注目を受けていたが、施設、運営共に見事で競技内容も充実したものであった。

本県選手はそれぞれ善戦健闘し近年にない良い成績をあげ、200万県民の期待に応えてくれた。

天皇杯・皇后杯成績次のとおりである。

天皇杯	16位	19.5点
内訳	1位	重量挙げ 8.5点
	2位	馬術 7
	5位	自転車 4
皇后杯	37位	1.25点
内訳	7位	漕艇 1点
	8位	庭球 0.25

主なる競技の成績次のとおりである。

漕艇競技	ナックルフォア	4位	耶麻高校
陸上競技	高校男子 5,000米	2位	田中安徳
	一般男子 3,000米 S C	5位	伊藤勝悦
サッカー	高校男子 1回戦	愛媛 4-0	安積高
庭球	高校男子 1回戦	愛知 3-0	福島
	高校女子 1回戦	愛媛 1-2	福島
	準々決勝	東京 3-0	福島
バスケットボール	高校女子 1回戦	埼玉 44-13	会女
柔道	一般男子 2回戦	岡山 2-1	福島
バドミントン	一般男子 2回戦	奈良 2-1	福島
自転車競技	一般男子 1,000米タイム	トヤリアル	1位 班目秀雄
	10,000米ポイントレース		4位 福原広次
	スクラッチレース		3位 柴田勝寿
	道路競走		7位 福原広次
	高校男子 1,000米タイム	トライアル	2位 班目隆雄
	4,000米団体追抜		6位 福島